



大阪対ガン協会報

2009年4月 発行

発行 財団法人 大阪対ガン協会 〒530-8211 大阪市北区中之島3-2-4 朝日新聞社内
TEL 06-6201-8029 FAX 06-6201-8615 E-mail: osaka.cancer.found@eos.ocn.ne.jp

ガン研究助成奨励金を贈呈

— 基礎・臨床・疫学・看護等4部門の23人に —



大阪対ガン協会（会長＝今岡真義・N T T西日本大阪病院院長）は3月13日、大阪市北区中之島の朝日新聞ビル会議室で平成20年度ガン研究助成奨励金の贈呈式を行い、近畿中央胸部疾患センター支持・緩和療法チーム専従看護師の日保ヒサさん（35）ら23人に賞状と各30万円を贈った＝写真左。ガン研究助成奨励金は、がんの予防と治療、研究に従事している個人またはグループの研究を助成・奨励するもので、今回で49回目。「基礎」「臨床」「疫学」「看護等」の計4分野から、若手育成を重点に、満40歳までの研究者、医療従事者を選定、贈っている。

選考委員は今岡会長が委員長を務め、「基礎」「臨床と疫学」の分野を各9人、「看護等」を4人の計22人。受賞者は、今回で延べ1,566人、総額3億6,190万円となった。

今岡会長は「奨励金の資金は対がん事業を支えて下さる協会の賛助会員や篤志家、企業らからの寄付金で支えられています。厳しい経済情勢の中で寄付頂いた皆さんの、こうした趣旨を十分に理解され、がん征圧をめざしていっそう精進され、飛躍されることを期待します」と話した。

受賞者を代表して、看護等の部で初受賞の日保ヒサさんが「胸部疾患専門の施設で約10年間肺がん看護に携わっており、3年前にがん性疼痛看護認定看護師に認定され、支持・緩和療法チーム

受賞者所属機関	基礎	臨床	疫学	看護等
大阪大学	4	3	0	1
近畿大学	0	1	0	0
関西医科大学	1	0	0	0
府立成人病センター	0	4	1	0
大阪医療センター	1	1	0	0
府立呼吸器・アレルギー医療センター	1	0	0	0
近畿中央胸部疾患センター	0	0	0	1
医薬基盤研究所	0	1	0	0
北野病院	0	0	0	1
市立堺病院	0	1	0	0
N T T西日本大阪病院	0	1	0	0



の専従看護師として活動しております。皆様ご存じの通り、がん患者への早期からの緩和医療が重視され、特にがん性疼痛は優先順位の高い課題として患者、医療者双方からのニーズが高い分野であります。そこで今回、肺がん患者におけるテレメンタリングを用いたがん性疼痛緩和の臨床応用開発に関する研究に取り組んだ次第です。テレメンタリングは現在、生活習慣病患者においては国内でも浸透してきておりますが、がん性疼痛患者に対しては、取り組まれて

いません。今回の受賞を励みとして、この手法を実地臨床に応用できるように研究、臨床実践を進め、がん性疼痛看護の質の向上に貢献していきたい。そして、なるべく長く家族とともに自宅で過ごしたいという患者の希望を叶えてあげてあげてを夢見ています」と、謝辞と決意を話した＝写真左。（受賞者は2～3ページに掲載）